

【施策評価調査】

施策名	5-5-1	スポーツ振興基本計画の策定と運用		124	施策目的 スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求に応える世界共通の人類の文化の一つです。心身の両面に影響を与えるスポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠です。住民が気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じて交流の輪を広げ、地域が活性化される環境を整えます。いつでも、だれでも、どこでもスポーツが出来る、より良い環境を整えるために計画を策定し、町民の健康・体力づくりを図りながら自己実現に寄与します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部署	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当		施策内容 住民誰もがスポーツを生活に欠かせない文化の一つとして捉え、豊かなスポーツライフの実現に向けて、(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)住民参加による町スポーツ振興基本計画を平成18年度までに策定し、策定した計画に盛り込まれた事業を展開します。
環境変化	特になし	リーダー	横塚恵子		

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : スポーツ振興基本計画の策定	平成16年度	計画	策定				
		実績	策定				
指標 : 成人週1回スポーツ実施率	平成17年度	計画	32.00%	34.00%	36.00%	38.00%	40.00%
		実績	31.60%	未測定	未測定	未測定	
指標 :		計画					
指標 :		計画					
指標 :		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	158,000	20,000	0	0	
	決算	163,750	20,000	0		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)
(再掲) 研修会開催事業費	H21 現計 0	研修会参加者数	町内の有識指導者に直接指導を受け、話を聞くことで、競技への関心を高めたり、さらに高い技術を身につけることができます。また、指導技術や指導者として望まれる知識を会得することで、地域スポーツ人口の増大や競技力の向上・安全面に留意したスポーツを実施していくことができます。	継続
	H22 計画 0	延べ80人		
(再掲) 町民体育祭交付金	H21 現計 1,200,000	参加者数	公民館単位の対抗戦をとることで、地域の団結力や連帯感を深める機会づくりとなります。体育祭種目は、子供からお年寄り参加しやすいものを取り入れるなど、全町民の参加が期待できます。(球技大会・野球・ソフトボール・女性ワンタッチバレー) (町民体育祭: マリ入れ、ゲートボールリレー、スーパーキャッチボール、アラカルトリレー、台風の目、輪投げー、力を合わせて、みんなでジャンプ、公民館対抗リレー)	継続
	H22 計画 1,000,000	延べ9000人		
(再掲) 各種教室開催事業費	H21 現計 437,000	参加者数	毎月開催のさわやかスポーツ教室を通して、運動を楽しみながら健康増進と体力づくりを心がけ、運動習慣の定着化を図っていきます。また世代間を超えたニュースポーツの開催やスポーツレクリエーション大会、ウォーキング大会など関係団体と交流をかね、抱き合わせて開催していくことで幅広い事業が展開できます。(指導者の要請、他機関との事業の合同実施) (さわやかスポーツ教室、スポーツレクリエーション大会、ニュースポーツ大会、ウォーキング大会、全国スポレク祭りハーサルベタング大会)	条件付継続
	H22 計画 490,000	850人		
(再掲) 元気あっぴマラソン大会交付金	H21 現計 2,295,000	参加者数	町外からの参加はもちろんであるが、昨年より多くの町民の参加が得られるよう呼びかけます。ハーフマラソン大会は、21年度に公認コースを新たにし、町のイメージアップにもつなげていきます。情報提供は、FMとちぎラジオ、ランナーズ(マラソンの専門誌)、町ホームページ、町広報誌等	条件付継続
	H22 計画 2,080,000	1650人		
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	スポーツ振興基本計画に基づき推進を図るために、「5-5-2~5-5-5」の各事務事業をもって運用展開していきます。	
廃止方向			
総合評価	総合評価		
	スポーツ施策に関しては、健康づくりなのか運動習慣づくりなのか、競技スポーツなのかレクリエーションなのか、どの年代をターゲットにしているのかなど、目的が不明瞭である。その上で、町が担うもの、総合型が担うもの、体協が担うものの整理がされていない。現在の取組みからは「全てを網羅的に推進する」という方針を読み取ることができるが、後期計画に向けては、職員負荷等を考慮し、目的を精査するべきである。ターゲットをある程度特化し、町がすべきことのラインを明確にした上で、その他については民間や総合型、体協や地域に委ねていくことが必要ではないか。		